

PHILIPPINES - Manila- Tour 2025

June 17th - 21th

フィリピン - マニラ - サポートセンター視察ツアー
2025/6/17(火)～21(土)

HDIの視察ツアーは一味違う!?

HDI-Japanの海外研修/視察ツアーはHDI-Japan担当者が直接訪問先企業と折衝した上で、参加者のニーズを事前に伝え、そのニーズに合った研修/視察内容を整えています。過去の参加者からは、明らかにHDIの海外研修/視察ツアーは他のツアーとは異なる価値の高いものだ、との声を多数いただいています。

最新のサポートセンターを見るならフィリピン!?

日本からわずか4時間！

フィリピンでは、英語を流暢に話し、またホスピタリティの高い国民性を持っています。コールセンター業界のオフショア先として世界第一位の規模となり、またバックオフィスやIT開発、ヘルスケア業務なども世界中から集まってきています。北米、ヨーロッパ資本などのグローバルなサポートセンターがマニラに多数進出し、世界中のサポートを数多く実施していますので、そのサポートセンターや運営内容は世界トップレベルとなっています。10,000席以上の最新コールセンターも珍しくありません。

コールセンター企業だけでも700社を超えるフィリピンでは、最先端のAI/ナレッジ活用や、採用、教育、従業員満足度の向上策には目を見張るものがあります。またコールセンターは憧れの職場の一つであり、そこで働く人々は明るく輝いています。

IBPAP
IT & Business Process Association
PHILIPPINES

視察ツアースポンサー募集中！
(現地での訪問先として設定可)

Manila Tour Schedule 2025

1日目 日本発マニラ着	2025/6/17(火)
2日目 マニラセンター見学/企業訪問	2025/6/18(水)
3日目 マニラセンター見学/企業訪問	2025/6/19(木)
4日目 現地情報交換会/市内視察	2025/6/20(金)
5日目 マニラ発日本着	2025/6/21(土)

※現地スケジュールは訪問先の都合により変更になることがあります

- 利用航空会社：ANAまたはフィリピン航空予定
- 宿泊：サマーセットミレニアムホテル(マカティ市)予定
- ホテルは全参加者シングルユース
- 添乗員/通訳：成田または羽田発着便に関しHDIスタッフ同行予定
- 料金は燃料代などにより変動することがあります
- 現地季節は日本の夏と同様ですので、荷物を少なく押さえることが可能です
- 食事は付いておりません。ただし希望者には現地センターの方などとのビジネスディナーなどの設定が可能です
- 出発2週間前くらいに参加者説明会開催予定
- プログラム料金は今後変動する可能性があります

**お申込みはこちらから！**

お申込みフォームに記載のうえ、以下
インフォメールまでお送りください！
info@HDI-Japan.com

お申込み2025年3月31日(月)〆切！
HDI
JAPAN

Join to HDI Manila Tour!

HOW ATTEND?

● パッケージ・プログラム日程

- 1日目：成田/羽田/関空発マニラ着、マニラ泊
- 2日目：マニラセンター見学/企業訪問、マニラ泊
- 3日目：マニラセンター見学/企業訪問、マニラ泊
- 4日目：現地情報交換会/市内視察、マニラ泊
- 5日目：マニラ発、成田/羽田/関空着

● 参加条件

- 1) 実際のサポートセンター経験が同等の経験があり、現在リーダー、スーパーバイザー、マネージャ職であるか、それに向けて準備中の方、HDIやグローバル化に関心のある方
- 2) 心身ともに健康で、プログラム参加に支障のない方

● パッケージ・プログラム費用(1名様)

① 標準パッケージ (宿泊+エコノミークラス)	470,000円
② ビジネスクラスパッケージ (宿泊+ビジネスクラス)	640,000円

※2025.1時点の費用
※HDIメンバー割引 10,000円

● 最少催行人数：5人 定員：10名

● プログラム費用に含まれるもの

- 1) 往復の航空運賃およびそれに伴う国内航空施設使用料、成田空港出入国に関わる税金、航空会社保険料乗客負担分
- 2) 滞在宿泊費用
- 3) 現地でのサポートセンター見学に関する移動・交通費
- 4) 当社スタッフ同行、通訳費用

● プログラム費用に含まれないもの

- 1) 燃油サーチャージ料
- 2) 海外旅行保険
- 3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代など)
- 4) プログラム期間中の傷害・疾病に関する医療費
- 5) プログラム期間中の飲食代
- 6) 日本国内における交通費・宿泊費
- 7) 現地観光費用、電話代、チップなどの個人的費用

Manila Tour Highlight 2024



IBPAP – フィリピンITビジネスプロセス協会

フィリピンの主要コールセンター企業、BPO企業が加盟する団体。フィリピンの現状とその優位性について詳しく説明があり、また今後のロードマップについてもその詳細を知ることができました。

JPMorgan – JPモルガン銀行

世界最高水準の銀行であり、市場シェアの拡大、強力な財務結果、クライアントや地域社会、株主への献身的なサービスを提供しています。

リフレッシュしながら仕事への集中力を高められる環境や設備、また社内の至るところには、会社へ意見を伝えるためのQRコードがあり、リアルタイムで従業員の意見や要望を把握し、従業員満足を高めるための施策を見ることができました。



Accenture – アクセンチュア

フィリピン最大のテクノロジー企業。従業員は4万人を超えているそうです。クライアントの国の文化を学ぶための研修を行っていて、トレーニングには億単位の予算を使っています。また生成AIの開発に力をいれており、実際に自社で開発している生成AIのデモンストレーションを見ることができました。



PLDT Enterprise – PLDTエンタープライズ

フィリピンで最も広範な光ファイバーバックボーン、データセンターフットプリントを持つ固定回線、無線、ICTサービスの幅広いラインナップなどにより、顧客に真の価値を提供するソリューションを継続的に提供しています。データセンター内の普段は立ち入り禁止の場所を、今回は特別に見ることができました。



Rakuten (Concentrix) – 楽天グループ (コンセントリクス)

社内ヘルプデスクセンターがコンセントリクス社内にあり、フィリピンスタッフによる遠隔サポートが行われています。社内ヘルプデスクをフィリピンへ移して「良かったこと」や、業務を円滑に進めるために「工夫していること」、そして「課題」について詳しくお話を聞くことができました。



Thank you for the invitation !